

新しい年のはじまりに
ステキな音楽を♪

2017 NEW YEAR SPECIAL



©Gakken Pub

須川展也 × 寺岡清高 × 青島広志

(サクソフォン)

(指揮)

(司会)

大阪交響楽団メンバーによる アンサンブル

(弦楽四重奏+ピアノ+金管五重奏)



指揮 寺岡清高

©飯島隆



ソリスト 須川展也(サクソフォン)



大阪交響楽団

©飯島隆



ソリスト
潮見裕章
(チューバ)

2017年 **1月22日(日)** 13:00 開場
14:00 開演
総社市民会館 (総社市総合文化センター)

★入場料／一般 2,500円 高校生以下 1,000円 ※全席自由 ※当日は500円UP
※未就学児入場不可

★プレイガイド **チケット発売日/2016年 10月28日(金)** ※公演中止の場合を除き、チケットは払い戻しいたしません。
総社市総合文化センター (TEL:0866-92-3491) 岡山シンフォニーホールチケットセンター (TEL:086-234-2010)
天満屋ハッピータウンリブ総社店 (TEL:0866-92-5555) アルスクらしきチケットセンター (TEL:086-434-0010)
宮脇書店総社店 (TEL:0866-92-9229) インディスク (TEL:086-422-1457)

★お問合せ／公益財団法人総社市文化振興財団 Tel (0866) 92-3491 総社市中央三丁目1-102 (総社市総合文化センター内)

主催:公益財団法人総社市文化振興財団 共催:総社市・総社市教育委員会

公演・イベント情報はこちら! [総社市文化振興財団](#) 🔍 検索

♪プログラム♪
アメリカ民謡:聖者の行進
モンティ:チャルダッシュ
服部隆之:真田丸メインテーマ
チック・コリア:スペイン
釋水明章:チューバとウインドオーケストラのための
コンチェルティーノ「Missing Piece」(岡山初演)
和泉隆宏:宝島 ほか

お願い
駐車場に限りがあります。
なるべく公共交通機関をご利用ください。





須川 展也(サクソフォン)

Nobuya Sugawa, Saxophone

日本が世界に誇るサクソフォン奏者。東京藝術大学卒業。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクール最高位受賞。出光音楽賞、村松賞を受賞。98年JT音楽家シリーズTVCM出演。02年NHK連続テレビ小説「さくら」のテーマを演奏。須川による名だたる作曲家への委嘱を積極的に行っており、その作品の多くがクラシカル・サクソフォンの主要レパートリーとして国際的に広まっている。89年から2010年まで東京佼成ウインドオーケストラ・コンサートマスターを務めた。14年にデビュー30周年を迎え、東京文化会館大ホールでの記念公演は完全売切の大盛況となった。これまでに約30枚のCDをリリース。最新CDは2016年10月発売の「マスターピースーズ」(ヤマハミュージックコミュニケーションズ)。2014年には著書「サクソフォンは歌う!」(時事通信社)を刊行。トルヴェール・クワルテットのメンバー、ヤマハ吹奏楽団常任指揮者、静岡市清水文化会館マリナート音楽アドバイザー&マリナート・ウインズ音楽監督。東京藝術大学招聘教授、京都市立芸術大学客員教授。

オフィシャルサイト <http://www.sugawasax.com>

フェイスブックページ <https://www.facebook.com/NobuyaSugawa.saxophone>



寺岡 清高

Kiyotaka Teraoka

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経て1992年よりウィーン国立音楽大学指揮科に入学。指揮を高階正光、カール・エステルライヒャ、ウロシュ・ラーヨヴィッチ、湯浅勇治の各氏に師事。1997年イタリア・シエナのキジアーナ音楽院より指揮科最優秀受講生に贈られる「フランコ・フェラーラ大賞」を授与され、1年間ジャンルイジ・ジェルメッティ氏のアシスタントとしてロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル、ローマ・サンタチェチーリア管等に同行し研鑽を重ねる。また、2001年より1年半にわたりイタリア・フィエーゾレ音楽院においてカルロ・マリア・ジュリーニ氏より定期的に指導を受けた他、2000年以降ヨルマ・パヌラ、ネーメ・ヤルヴィ両氏の下で研鑽を積む。2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝。これまでにヴェニス・フェニーチェ歌劇場管弦楽団、サンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、オランダ放送管弦楽団、モスクワ室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団を始め、イタリアを中心にヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。日本に於いては2001年に大阪交響楽団(旧 大阪シンフォニカー交響楽団)を指揮してデビュー。これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団等を指揮している。近年はイタリア・パドヴァ管弦楽団、フランス国立ロワール交響楽団、ブラジル・ポルトアレグレ交響楽団、イギリス室内管弦楽団等に客演。大阪交響楽団とは、2004年1月の正指揮者就任以来緊密な関係を続けている。2011年4月、同楽団常任指揮者に就任。ウィーン在住。



青島 広志

Hiroshi Aoshima

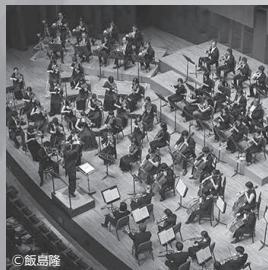
1955年東京生まれ。東京藝術大学および大学院修士課程を首席で修了し、修了作品のオペラ「黄金の国」(原作:遠藤周作)が同大図書館に購入され、過去2回の東京都芸術フェスティバル主催公演となる。作曲家としては「火の鳥」(原作:手塚治虫)、「黒蜥蜴」(原作:三島由紀夫)、管弦楽曲「その後のピーターと狼」、合唱曲「マザーグースの歌」、ミュージカル「11ぴきのネコ」など、その作品は200曲を超える。ピアニスト・指揮者としての活動も40年を超え、最近ではコンサートやイベントのプロデュースも数多くこなしている。NHK「ゆかいなコンサート」の初代監督を8年務め、現在もNHKラジオ「みんなのコーラス」「高校音楽講座」にレギュラー出演のほか、テレビ朝日「題名のない音楽会」、日本テレビ「世界一受けたい授業」、テレビ東京「たけしの誰でもピカソ」、TBSラジオ「こども電話相談室」にも出演。著書に『モーツァルトに会いたくて』『青島広志でございます!』『あなたも弾ける!ピアノ曲ガイド』(学研プラス)、『やさしくわかる楽典』(日本実業出版社)、『作曲ノススメ』(音楽之友社)、『21世紀こどもクラシック』(全5巻・小学館)、『音楽家ってフシギ』(東京書籍)、『オペラ作曲家によるヘンなオペラ超入門』『作曲家の発想術』(ともに講談社)などがある。東京藝術大学、都留文科大学講師、洗足学園音楽大学客員教授、日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。



潮見 裕章(チューバ)

Shiomi Hiroaki, Tuba

1972年生まれ、兵庫県相生市出身。1995年に大阪音楽大学を卒業。チューバを石崎一夫、武貞茂夫、西谷尚生、ロバート・トゥッチ、故トーマス・ウォルシュ、ロジャー・ボボの各氏に師事。1999年に大阪交響楽団(当時、大阪シンフォニカー)に入団。2002年にR・ヴォーンウィリアム作曲「チューバ協奏曲」を共演し、ソリストとしてのデビューを飾る。今までに大阪・東京・名古屋を中心に多数のソロリサイタルを開催。2012年にはオーストリアのリンツ、2014年にはアメリカのインディアナ、2016年にはアメリカのテネシーで開催されたInternational Tuba Euphonium Conference にゲストアーティストとして招待され、ソロリサイタルを開催。2015年にはシンガポールで開催された Singapore low brass festival にゲストアーティストとして招待され、マスタークラスやソロリサイタル、シンガポールフィルハーモニックウインズと共演。2016年には台湾の吹奏楽団サイレンウインドオーケストラのゲストソリストとして共演するなど、国内外を問わず幅広い活動を展開している。今までに4枚のソロCDをリリース。2014年には3rd album「Brand New Morning」がITEA主催「Roger Bobo Awards」にノミネートされ注目を集める。今までに八木澤敬司「愛の歌」、清水大輔「友がそばにいるということ」、合田佳代子「幻想曲」「大きな木」「象のマック」、富田万理子「OSANA」、釋水明章「Missing piece」、川合清裕「光の反映」をはじめ、他にもチューバのための委嘱作品や新作の初演を多数手がける。現在、大阪交響楽団、チューバ奏者、ジャパン・プラス・コレクション、メンバー。大阪音楽大学、非常勤講師。



大阪交響楽団

Osaka Symphony Orchestra

1980年創立。初代音楽監督・常任指揮者に小泉ひろしを迎える。永久名誉楽団代表・数島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!」を提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。1992年1月にトーマス・ザンデルリンクを音楽監督・常任指揮者に迎え、オーケストラとしての基礎を築いた。その後曾我大介を音楽監督・常任指揮者に、さらに大山平一郎がミュージックアドバイザー・首席指揮者に、そして2008年4月からは児玉宏が音楽監督・首席指揮者に就任、その活動ぶりや演奏は各方面から高い評価を得た。楽団名を「大阪シンフォニカー」から2001年1月に「大阪シンフォニカー交響楽団」、さらに2010年4月に「大阪交響楽団」と改称。また支援組織として、1988年大阪シンフォニカー協会が設立、2008年12月に一般財団法人となる。さらに2012年4月に支援組織と楽団を統合し、一般社団法人大阪交響楽団となった。2000年本拠地を大阪府堺市へ移転。2006年4月、大和ハウス工業株式会社代表取締役会長樋口武男氏が運営理事長に就任している。2015年4月には二宮光由が楽団長・インテンダントに就任。さらに2016年4月からは、日本楽壇最長老の外山雄三がミュージック・アドバイザーに就任、2004年1月から正指揮者として、また2011年4月からは常任指揮者に就任した寺岡清高氏(2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝)の両指揮者陣のもと、さらなる楽団の飛躍が期待されている。楽団公式ホームページ(<http://sym.jp>) (2016年4月現在)